

学校教育目標	あかるくさわやかひとみきらきらあさひっ子 「思いをもつ力」「やり抜く力」「関わる力」			
	昨年度より、これまでの学校教育目標「あかるくさわやかひとみきらきらあさひっ子」から、本校で重点的に育てたい資質・能力として3つを掲げ、全教育活動において目指す方向目標として置き換えて学校教育を進めてきた。題目化して質的な共有を失っていた学校教育目標の更新して1年、教職員も児童も目標を共有して適宜振り返りを進めている。中期学校経営方針を打ち出して2年目の今年度、常時、資質・能力の獲得状況を確認しながら学校教育を推進していく。			
学校概要	創立 122 周年	学校長 益子 照正	副校長 岩元 カオリ	2 学期制
	児童生徒数: 744 人	主な関係校: 寺尾中学校、上寺尾小学校、東台小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
《 思いをもつ力 》 《 やり抜く力 》 《 関わる力 》	寺尾中学校 上寺尾小学校 東台小学校 旭小学校	人とのかかわりの中で、自分らしさを表現しながら、主体的に学び続ける子ども  ○ブロック内各校の授業や行事等への参加を通して、児童に身に付けさせたい資質・能力についての共通理解を図り、ブロックで育てたい子ども像の実現に向かって実践化を図る。 ○4校の校長が着任1～2年目、かつ昨年度はほとんど交流を実現できなかったことを踏まえ、積極的な情報共有を図り、児童生徒の9年間を見通した教育活動を目指す。

中期取組目標	児童が自ら課題を発見し、自らの力で解決していくことを通して、予測不可能な未来を生き抜くための資質・能力を育みます。 ○児童の必要感を重視し、「こんなことを実現したい」という思いをもって主体的に取り組む姿勢を大切にします。 ○思いをもって始めたことに対して安心して取り組める機会を保障することを通して、責任をもって最後まで粘り強く取り組む姿勢を大切にします。 ○仲間と議論したり、折り合いをつけたりする機会を保障することを通して、相手意識をもって行動する力を育てます。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	生きて働く知	①児童の必要感を原動力にした授業デザインを各教科・領域で進める。総合的な学習や生活科、体験学習等を通して、より進展を図る。②ICTの活用面では、児童が機器の使用に慣れ様々な場面で活用してきた。必要感に応じた活用を目指す。
担当	研究推進委員会	
徳	豊かな心	①児童間で意見交換をする学習場面を設定しやすくなった。より他者の考え方にふれる場面を増やし、質的な向上を目指していく。②「ひと」との出会いを取り入れる学習をさらに充実させ、その出会いから深い学びに向かうための授業力向上に努めていく。
担当	人権指導部	
体	健やかな体	①ようやく、多様な運動場面を設定できるようになってきた。運動会等もコロナ禍前に照準を当てながら、児童主体の実践を進めていく。②手洗いを中心に、児童の実践力は高い水準を維持している。保健学習の充実を図るなど、より児童の必要感に即した実践の実現を目指す。
担当	体育部	
公開	地域との協働	①ようやくコロナ禍以前の活動を視野に入れた計画を立てられるようになった。各学年の学習に地域の人材や専門家を招いての学習を取り入れてきたが、より範囲を拡大して学習への参画を募る。②寺尾中とのより多様な関係性確立も目指す。
担当	教務部	
いじめへの対応		①教職員のいじめ認知に関する感度は向上し、各学年で小さな事案を逃さずに拾うことによって大きな事案に至らせることなく解決できた。新専任とともに、さらに情報共有を強くしながら、児童が安心して学ぶことができる環境づくりを目指す。②アセスメントの向上を図り、児童理解の充実を目指す。
担当	児童指導部	
人材育成・組織運営(働き方)		①大幅な組織改編を行った校務分掌により、時間的な余裕を生み出すことができた。教職員の関係性質的向上を図り、経験の浅い傾向にある教職員の指導力向上を目指す。②教職員間での情報共有場面が増えた。相互に高め合う教職員集団づくりを目指す。
担当	学校運営部	
児童指導		①児童支援専任が新任となるが、基盤となる学年間での情報共有を充実させ、続いて専任を中心に学校全体で児童に関する気になる情報を整理することでの安定した指導を目指す。②目指したい児童像を学校教育目標をもとに明らした。家庭にも丁寧な説明を続け、目指したい児童像の共有を進め、教育内容の充実を図る。
担当	児童指導部	
特別支援教育		①校内での特別支援教育に対する理解度が高まってきた。多様性と包摂性の理解浸透に向けて、順調に歩を進めていく。②関係機関との連携を含め、精度の高い情報共有によって、誰もが安心して学ぶことができる環境づくりを目指す。
担当	特別支援教育担当	
ESD		①ESD担当者が様々な研修会に足を運び、その理解を深めてきた内容が、校内に浸透しつつある。これまで取り組んできた教育活動をESDの視点で再検証するなどの取組を進める。②SDGsというキーワードを活用し、各教科学習および学校行事等の充実を図る。
担当	ESD担当	
学校情報発信		①保護者来校機会は増えたが、コロナ禍以前には戻っていない。学校として、機会の充実を模索し、可能な限りコロナ禍前の質的状況に戻す。②WEB、SNS発信は進んだが、学年・学級からの発信は途上であり、充実を目指す。保護者評価の要望に多くあるように、教職員が地域や保護者のニーズを受け止める意識を高める。
担当	教務部	